

“重低音”×“タフ” ここにしかない

すべてにおいてバランスが整った、優等生の完全ワイヤレスではものたりない。
そんな音楽ファンに注目してほしいのが、“重低音”×“タフ”をコンセプトにしたJVCのXXシリーズだ。
音もルックスも圧倒的な存在感を放つトップエンド、「HA-XC90T」の真価に迫る。

文／高橋 敦

大口径12mmドライバーと独自構造でヘビー級の音

JVCイヤホンの中でも特に強い個性を感じさせるのが「XX」シリーズだ。シリーズのコンセプトは“重低音”×“タフ”。サウンドはもちろん、ルックスからひと目でわかるように存在感も屈強そのもの！長らく続く定番となっている。そのシリーズの完全ワイヤレスのラインアップに「最強」と表現するのが適当だろうか、トップエンドとなる新モデルが追加された。それがこの「HA-XC90T」だ。

目にしてまず受ける印象は「デカイ！」となるだろう。だがそれには納得な理由がある。このモデル、12mmという大口径のダイナミック型ドライバーを搭載しているのだ。完全ワイヤレスイヤホンとしては...ではなく、イヤホン一般の尺度で見ても文句なしの大口径ぶり。それを、普通であれば小型化が優先される完全ワイヤレスに、小型化よりも優先してブチこんできた。XXシリーズのトップエンドだからこそ許される振り切った選択といえるだろう。その大口径ドライバーに、独立音響チャンバーや「エクストリームトルネードダクト」構造(長さを得るために巻き方向の異なる渦巻状のダクトを重ねて配置している)などの音響設計を合わせて、XX最上位にふさわしい重低音サウンドを実現しているわけだ。装着性の面でも、肉厚のイヤーチップでしっかりフィットさせることなどで、大柄さの割には十分なものを確保してある。

もちろん「タフ」さも万全だ。ラバープロテクターをまとうルックスから期待される通りの耐衝撃に加え、IP55対応の防水・防塵仕様。

DETAIL

エクストリームディープバスポート<イメージ>



POINT

ほかにはないリアルな重低音！

大口径12mmドライバーを搭載。そのポテンシャルを活かしてリアルな重低音を再現するために、独立音響チャンバーとエクストリームディープバスポートを採用。そのためにイヤホン本体は大柄なボディになっているが、奥行きはスリムで、見た目よりも驚くほど装着性が高い！

スポーツどころかもっとエクストリームなアクティビティにも対応してくれそう。イヤホン本体で15時間、ケースですらに+30時間というバッテリーライフもタフ！そのケースにはリングが用意されており、たとえばバッグのベルトやハンドルに吊り下げればバッグの中で迷子になったりもなくて便利。またケース開閉は押すと飛び出てくるプッシュオープン機構となっており、完全ワイヤレスのケースでは他にあまりないその操作感でも気分を高めてくれる。そのほか、左右独立伝送や高感度LDSアンテナによる安定したワイヤレス接続も特長となっている。

そしてサウンドはというと実に良質な重低音！低音を、ドカンと大きくではなくガツンと力強くプッシュし、深みも出してくれるところが秀逸だ。クラブ系サウンドでの特に低い音域で響くベースやバスドラムも、過剰な強調感を出さずにディープに表現してくれるのは見事だ。引き締まった強さと深みを備える低音表現、いうならば「低音イケボイヤホン」か。その低音の沈みに対して不足しない、スネアのアタックなど高域側への抜けのよさもポイント。クラブ的密度感にもヒップホップ的抜け感にも対応できるので、現代的なサウンド全般にフィットしそうだ。さらなる低音がほしいときは右側タッチボタン3タップで「BASS BOOST」をオン！

確かめて納得。これは現在最強の“重低音”×“タフ”完全ワイヤレスイヤホンだと断言しよう。

POINT

タフに使えてバッテリー長持ち！

イヤホン本体は雨や砂埃に強い耐衝撃ラバープロテクターを配置。防水・防塵仕様(IP55)となっている。充電ケースもメタリックで重厚感がある。キーリングが装備されており、吊り下げて持ち運ぶこともできる。バッテリーもタフで、イヤホンだけで15時間、充電ケースですらに30時間の再生が可能だ。

を極めた 完全ワイヤレス

完全ワイヤレスイヤホン

JVC HA-XC90T

¥OPEN ▶投票 No.084

XX
XTREME XPLOSIVES
WIRELESS

SPEC ●通信方式：Bluetooth標準規格Ver5.0
●対応コーデック：SBC、AAC、aptX ●ドライバー口径：12mm ●連続再生時間：約15時間(ケース込み約45時間) ●質量：約10.3g(イヤホン本体)、約135g(ケース) ●付属品：イヤーチップ(S/M/L)、USB Type-C充電ケーブル

POINT

タッチで簡単操作！

イヤホンは操作がしやすいタッチコントロール式。イヤホンを装着しながら会話できる「タッチ&トーク」や、アプリを使わず「バスブースト」の入切が設定できる機能も便利。